



学校だより

しいば川

嬉野市立轟小学校 学校教育目標

みんながつくる みんなの学校 ~自ら学び、「ミライ」をつくる~

第2号 2026(R8).5.12 文責:校長 北村 英



2026(令和8)年度 学校教育目標について

新緑の美しい季節となりました。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

本年度より、学校教育目標を「みんながつくる みんなの学校 ~自ら学び、『ミライ』をつくる~」とし、「主体性を身に付け、持続可能な未来社会を創造する子どもを育む学校」を目指して教育活動を進めてまいります。この目標には、「子どもたち自身が、自分たちの学校や未来を自分たちの手で創っていく」という願いを込めています。

これからの社会は、変化が激しく、答えのない課題に向き合っていく時代だと言われてしています。そのような時代を生きる子どもたちには、「言われたことができる力」だけでなく、「自分で考え、仲間と協力しながら行動する力」が必要になります。本校では、子どもたちが様々な課題を自分事として捉え、自ら考え、行動できる「主体性」を育むことを大切にしていきたいと考えております。委員会活動や学級活動、学校行事などにおいても、教師がすべてを決めるのではなく、子どもたち自身がアイデアを出し合い、「みんなが楽しいと思える学校」をつくっていく経験を積み重ねてまいります。

また、本年度は、「子ども主体の授業づくり」「ふるさと轟・嬉野の良さを学ぶ嬉野学」「誰ひとり取り残さない教育の推進」「人権教育やSDGs学習の充実」「子ども、保護者、地域が共につくる学校づくり」などを重点的に進めてまいります。「みんながつくる」という言葉には、子どもだけでなく、保護者や地域の皆様、教職員も含まれています。学校だけで子どもを育てる時代ではなく、地域全体で子どもたちの成長を支えていくことが、ますます重要になっています。子どもたちが、ふるさと轟に誇りを持ち、「自分も地域の一員である」と実感できるよう、保護者・地域の皆様と連携しながら教育活動を進めていきたいと考えております。これからも、「子どもたちにどんな力を育みたいのか」という思いを共有しながら、教職員一同、子どもたちの可能性を最大限に引き出せるよう努めてまいります。

本年度も、本校教育への温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



2026(令和8)年度 嬉野市立轟小学校 グランドデザイン

学校教育目標

みんながつくる みんなの学校
~自ら学び、「ミライ」をつくる~
主体性を身に付け、持続可能な未来社会を創造する子どもを育む学校



学校運営目標

轟小に関わる全ての人たちの
ウェルビーイングの実現を目指す学校



目指す子ども像

- ・様々な課題に対して当事者意識を持ち、気づき、考え、行動できる主体的な子ども
- ・学びを自己選択・自己調整し、深めていく子ども
- ・自他の人権と多様性を尊重し、自ら人に関わろうとする子ども
- ・自分の時間をマネジメントできる子ども



目指す教師像

- ・環境の変化を前向きにとらえ、主体的に学び続ける教師
- ・子どもの主体的な学びを引き出し、支援する教師
- ・子どもにとってよきロールモデルとなる教師
- ・子どもの思いに寄り添い、自己肯定感・自己有用感を高める教師
- ・子どもの成長を促す専門的スキルを身に付けた教師
- ・自分の働き方をマネジメントでき、働きがいを実感できる教師

今年度の重点目標



主体的な学びプロジェクト

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ふるさと轟の「人・もの・こと」に学び、誇りをはぐくむ「嬉野学」の推進
- 論理的思考力を育むプログラミング教育の計画的・継続的な推進



生きるカプロジェクト

- 子どもの可能性を引き出す発達支持的生徒指導の推進
- 誰もが「生まれてきてよかった」と思える社会づくりに向けた人権教育の推進
- SDGsの達成に向けた学習・実践の推進



バランス心・体プロジェクト

- 子どもが主体となる体育的行事の推進
- 誰ひとり取り残さない特別支援教育の充実
- 豊かな心をはぐくむ読書活動の充実



みんなの学校プロジェクト

- 子ども、保護者、教職員、地域の方々が参画する学校運営
- 「こどもまんなか社会」の実現に向けた学校運営
- 働き方改革の推進による教職員の働きがいの向上

保護者の皆さまにお願いしたいこと

- ・朝、自分で起きる習慣 → そのためには、夜の過ごし方が重要
- ・自分でできることは自分でさせる（時間がないからと言って、家族がしてあげない）
- ・結果ばかりを重視せず、そこに至るまでの過程をほめる
- ・失敗を学びの機会ととらえる「失敗しても大丈夫！次、がんばろう!!」
- ・子ども同士のトラブルに、大人が過干渉しない（わが子の話をしっかり聞くことは大切）
- ・家族の一員としての役割を与える（お手伝いから当番へ）
- ・子どもの前で担任批判はしない
→ その後の指導が通らなくなることも…。困った時は、学校へ連絡をお願いします



集団登校のお願い

4/23開催のPTA総会において、参加された保護者様にお伝えしましたが、本校は原則「徒歩通学・集団登校」をお願いしました。登校班長のリーダーシップで集団登校できている児童もいますが、車で送迎されている児童もいるのが現状です。ご家庭の状況に応じた対応が必要な場合もあることは十分理解しておりますが、学校としては、以下のような目的で集団登校を推奨しております。

- ・児童の体力向上
- ・健康な体づくり
- ・将来の自立
- ・異年齢集団での関わりの場の創出



徒歩で登校することは、子どもたちの体力向上や健康な体づくりにつながります。

また、自分の力で歩いて登校する経験は、「自分で行動する力」を育み、将来の自立

にもつながっていくと考えております。さらに、異年齢で関わる集団登校では、思いやりや責任感、社会性など、多くの学びが生まれています。班長として下級生を気遣いながら歩く経験は、リーダーシップや優しさを育てる貴重な機会となります。下級生にとっても、上級生の姿を見ながら学ぶことのできる大切な場となっています。子どもたちの安全を第一にしながら、これからも集団登校のよさを大切にしていきたいと考えております。

保護者の皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、大雨時や台風接近、雷雨、緊急対応が必要な時など、保護者による送迎が望ましい場合は、できる限り早いタイミングでマチコミメールにてお知らせいたしますので、ご協力をお願いいたします。

学校教育目標【目指す子ども像】

本年度の教育活動を通して、目指す子どもたちの姿について説明いたします。

○ 様々な課題に対して**当事者意識**をもち、**気付き、考え、行動できる主体的な子ども**

◇様々な教育活動を通して、子どもたちが身の回りにある様々な課題に対して、「当事者意識」をもち、答えの出ない課題に対しても「主体性」をもって考え、実行していく力を身に付けさせていきます！

子どもたちに身近な問題例

- ・いじめ ・暴言、暴力 ・仲間はずし ・無視（シカト） ・ネットトラブル ・SNSトラブル
- ・人権課題 ・環境問題

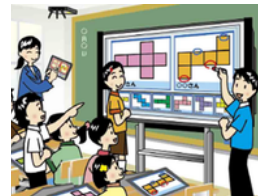
◇「誰もが安心して過ごせる学級・学校」「みんなが楽しいと思える学級・学校」を目指します！

○ **学びを自己選択・自己調整**し、深めていく子ども

◇日々の授業に、子どもが学ぶテーマ・学習方法・を自己選択・自己調整できる場面を取り入れ、子ども主体の学びに変えていきます！

◇各教科で、個別最適な学びを実践していきます！

◇発達段階に応じて、タブレットPCと紙媒体をバランスよく活用した授業を行います！



○ **自他の人権と多様性を尊重**し、自ら人に関わろうとする子ども

◇様々な人権教育教材を使った人権学習を推進することで、多様性が包摂され、人権が尊重される共生

◇社会を実現しようとする子どもを育てていきます！

◇クラスの実態に応じて、構成的グループエンカウンター（SGE）、グループワークトレーニング（GWT）、ソーシャルスキルトレーニング（SST）を取り入れた授業を実施します！

○ **自分の時間をマネジメント**できる子ども

◇家で過ごす時間（学習、読書、家族とのコミュニケーション）を自分でコントロールできるようになって欲しい！

◇スクリーンタイムの管理（子どもと一緒に決まりを作る）⇒自主的な学習の充実

◇ゲーム、動画視聴、SNS等、デジタルコンテンツを使用する時間を、自分でコントロールできるようになって欲しい！ ※平日1時間 休日2時間を目安に

◇家族の一員としての役割を与えてください！（お手伝いから常時活動へ）

◇図書委員会が主体となって、読書タイムや様々な読書活動を充実させます！

◇家庭と連携した読書活動「家読（うちどく）」を行います！